



会からのお知らせ

○ 10月 定例役員会

日時 平成22年10月9日(土) 10:30～12:00
場所 ふるさと歴史館・研修室 午後はキャンパス・ツアーを行います。

〈キャンパスツアー〉午後2時 大隈講堂前集合。参加希望者は小亀宛(394-6951)、9月10日(金)までご連絡ください。

○ 校友会関係会合

三多摩支部会長会 8月27日(金) 早稲田大学大隈会館N棟
小亀・風間・當間・當摩・高橋(正)・岡田 出席

幹事長・事務局長会議 9月17日(金) 15時 大隈小講堂
風間事務局長出席

代議員会 9月17日(金) 17時 大隈講堂
風間・當摩・高鷲・井垣出席予定

《大学よりのお知らせ》

○ 早稲田大学野球部施設整備拡充事業ご支援のお願い

1口1万円 ご協力頂ける方は趣意書及び振り込み用紙を差し上げますので、事務局までご連絡ください。

○ 潘国連総長 早大で講演

8月4日潘基文国連事務総長が早稲田大学で「平和と軍縮」をテーマに講演し、「核なき世界」実現について「確かに難しいが、不可能ではない」と核軍縮の重要性を強調した。潘氏は、「人類史上最も恐ろしいことを繰り返すなと訴える人びとの声に加わるために日本にやって来た」と述べ、日本の若者には「被爆者らの証言は核の脅威に対する最も明確な証言だ。世界は広島と長崎の記憶を引き継ぐためにあなたたち日本の若者を必要としている」と、原爆の惨禍や被爆者の苦しみを語り継ぐことの重要性を訴えた。

前号でお知らせしましたように、本年度東村山稲門会の総会は11月21日(日)に行われます。総会は年一度の大切な会議です。是非多くの皆様のご出席をお願い致します。また、当日の午後は三多摩支部大会が早稲田大学キャンパスで行われます。

11月21(日) 午前11～12時 東村山稲門会第14回総会
サンパルネ・コンベンションホール
東村山駅西口ビル2F

午後 3時30分 三多摩支部大会(報告会)
4時30分 校友会設立125周年記念講演
元総長 奥島孝康先生
早稲田大学法学部(8号館)B107教室

6時～ 懇親会 大隈ガーデン・ハウス
新総長も出席予定
会費 5,000円

同封の葉書で出欠をお知らせください。

○ 名簿の住所変更

野田 数さん 新住所 189-0022 東村山市野口町3-8-2 042-392-4411

各同好会世話人の皆様へ！

事務局長 風間 和夫

既にお願ひしております「同好会活動報告書」（11月21日開催の総会の資料として使用）は、締切が9月末日となっております。

期日必着で編集局の中村真弓さん宛、メールにて送信をお願いいたします。（アドレスは8ページの「編集局だより」参照）



春すぎて

菊田 哲（S50法）

祖母の葬儀の一切が終わったその夜、父と母を囲んで家族だけでお疲れさま会をした。家族だけといっても弟妹とそのこどもたちを合わせると総勢が20人になった。

「みんなが集まるとびーちゃん嬉しそうにしていたよね」と娘。

「びーちゃん」とは祖母のことだ。

こどもたちの「ひいばあちゃん」がいつしか「びーちゃん」に転じてみんなの共通語になった。

享年105。郷里で父と母が付きっきりで介護していたが、この1月27日の未明、老衰で死んだ。90歳を超えてから呆けの症状が出始め、話に脈絡がなくなった。けれども百寿の祝いには、水で薄めた酒を口にしながら、父の謡う「高砂」に和したり、親戚のだれかれが歌う歌謡曲や民謡に手拍子をたたいて一緒に歌ったりするほどしっかりしていた。

しかし、その後、トイレに行く途中に歩行器から手が外れて転倒。左腕を骨折し、軽い脳梗塞を併発して呆けの症状がすすんだ。それでもたまに意識の回路がつながることもあるらしく、食事や下の世話をする母に「おはよう」と挨拶したり、父が読み上げる「百人一首」の上の句にはっきりと下の句を返してきたりした。

「天の原～ふりさけ見れば春日なる～」

「奥山に～もみじふみ分け鳴く鹿の～」

父は、何とか祖母の意識を回復させようと、しばしばベッドの傍で百人一首の上の句をくり返した。

「いちばんここに居たかったのはびーちゃんかも・・・」

「きっとそう」とこどもたちがしんみり云う。

「どこかそのあたりに居るんじゃないか」沖縄からやって来たひょうきんものの甥が天井の四方を見上げて交ぜっ返す。

「そうだ。春すぎてをやれば来るかもしれない」

「じいちゃん、やって・・・」

こどもたちのことばに「よし！」と父が応えて身構えた。

「春すぎて～」

持統天皇の歌。百人一首の中で祖母がもっとも好きだった歌だ。まさに病床の祖母に読んでいたようにゆったりと入って行く。

母がそれを受けて

「夏きにけらし白妙の～」

と和し、最後は全員で

「衣干すてふ天のかぐ山～」と続けた。

再び「衣干すてふ～」とくり返そうとすると、う、うっ、とくぐもった声がした。

父が泣いていた。



鉄道の雑学とヨーロッパを旅して

平成22年8月7日 於 東村山サンパルネ・
コンベンションホール

講師 赤荻 洋一 (S40商)

何故、日本の鉄道に1067mmの軌間が採用されたのか？これは早稲田大学の創始者、大隈重信侯による。民部大輔という立場から、「ゲージとは何か？」を聞けなかった。そこで、「ヨーロッパ諸国ではどうなっているのか？」と反問し、色々の例を聞きながら、ゲージとは何かを理解し、「日本は国土も狭いから3フィート6インチにしよう」と言って、政府の決議のときもこれを言って簡単に決まってしまう。後に大隈侯は「日本の鉄道を狭軌にしたのは、我が輩の一生一代の失策であった」と告白したと言われている。

都営地下鉄の3種類のゲージ（軌間）を線別に紹介した後、イギリスのロムニー鉄道の写真や旧・花巻電鉄の馬面電車の写真を投影し、ゲージには色々あることを説明した。

次に、ダイヤの話として鉄道創設期のW. F. ページの話と実際のダイヤグラムの一部を映し、ダイヤはこのようになっているという説明。上り・下りの列車番号の基本的な振り方を図示して解説する。

駅編では、クイズ形式でJR・民鉄の難読駅名を出したが、問題が難しすぎたせいもあり各5問以上わかった方と質問しても挙手をする方がなく、賞品を出せなかった。（終了後の懇親会で使用させて貰った。）また、鉄道の鉄の字について「鉄」が金を失うとってこれを嫌い、金偏に矢を用いているJRを紹介。JR東海の株主優待券の字を投影してわかって貰う。長い駅名・短い駅名等の話が続く。

「ヨーロッパを旅して」に入り、切符の買い方の色々を紹介する。優等列車の食事、通貨について、喫煙についてはタバコの写真をアップで投影。日本では小さな字でチョコチョコと書いてあるが、タバコの大きさの半分位に「喫煙は死ぬよ」とか裏には「ガンになるよ」とありヨーロッパの喫煙に対する姿勢が出ていた。

ツアーから離れて一人歩きは楽しいが、迷子になることも数回あり、事例を挙げながら話した。動物の車内持ち込みや注意書きを車両の入口にあるピクトグラムを投影して説明。また、自転車がどう扱われているかも写真の投影し説明した。衛兵写真の中にスウェーデンの衛兵小屋に入った写真を悪戯に入れて笑いを誘う。



ヨーロッパの写真集になるが、私の時間配分が悪かったせいか時間が少なくなり、風景を期待して暑い中をいらしてくださった方には申し訳ないことをしました。1回旅行をすると1000枚位撮っているの、カメラを替えると同じネガ番号になってしまい、国があっちこちに飛んでしまい見ている方にどこから何処になってしまったかわかりにくくなってしまった。ご要望があればDVDにしてお渡し致します。

(赤荻 記)

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

音楽同好会（稲穂会） 世話人 高橋文子 TEL 393-2676

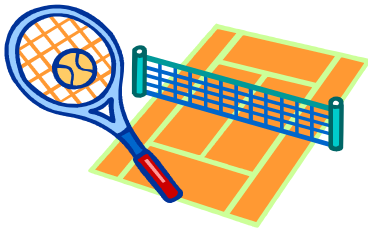


音楽同好会7月の例会で、富塚さんより「稲穂」と命名していただきました。「早稲田」と「実りの秋」の意味を込めて、これからも活動してまいります。

さて、次回の例会は、9月12日（日）恩多ふれあいセンターにて午後2時から行います。秋を歌った歌や懐かしい歌が登場します。話題の「ゲゲゲ...」も？ リクエストのある方は世話人まで。

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



8月例会は、雨で中止となった7月分を含めて、2回実施しました。
8月7日(土)は、運動公園 A。参加者 市川(彰)夫人、井手、高橋(一)、當間、戸田、野村の各氏と田島の7名。

8月14日(土)は、久米川コート 3。参加者 市川(彰)夫妻、高橋(一)、滝来(京)、野村の各氏と田島の6名。

両日とも真夏の炎天下、中高年の多い当会としては、かなりの冒険でもあったわけですが、熱中症になる人もなく、全員元気にコートを走り回りました。

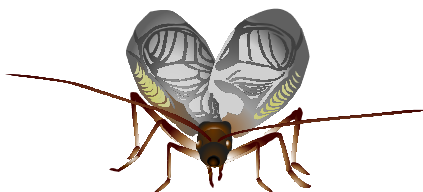
休日とあって、高橋、野村の両氏も参加し、白熱したゲームも展開され、充実した夏期練習となりました。

今後の予定

9月18日(土) 9時～11時 運動公園 B (前回ニュースでは、9月6日としていましたが変更)
(予備日 9月27日(月) 9時～11時 久米川コート 5)
10月16日(土) 9時～11時 久米川コート 3
(予備日 10月23日(土) 9時～11時 久米川コート 3)

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣 和太 TEL 04-2924-2934



第52回「稲酔」俳句会の日程は下記の通りです。 記

開催日時 : 10月23日(土) 午後1時開始
会場 : 恩多ふれあいセンター 第一集会室
兼題 : 「虫」一切
出句 : 兼題句含め当季雑詠計5句

投句参加も歓迎いたします。前日までに世話人宛。

《兼題「虫」一切》(蟋蟀、鈴虫、松虫、きりぎりす、秋の蝶、秋の蚊、秋の蠅、・・・)

猛暑日続きの夏もようやく季節の交代期に入り、生物が活気を取り戻してきました。あれほど樹林を震わせていた蟬時雨もおさまり、草原や庭の草間から、いろいろの虫の音が聞こえてきます。

それぞれの虫の秋の季節ならではの様子を詠んで、あなたの秋の感動を伝えて下さい。

こほろぎや眼を見はれども闇は闇
鈴虫や早寝の老に飼はれつつ
生きて仰ぐ空の青さよ赤蜻蛉

真砂女
夜半
漱石

(稲雀 記)

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



8月例会を8月7日開催。参加者(敬称略)井手、井垣、滝川、高部、高鷲、南湖、内藤の7氏。

異例の暑さの最中、暑さを吹き飛ばし元気ある2時間でした。
カラオケは一年中活躍出来る場所です。貴方の参加をお待ちしております。

今後の予定

9月4日(土) 19:10 カラオケランド ズー
10月は中止となります
11月6日(土) 19:00 カラオケランド ズー